



平成30年度日米共同方面隊指揮所演習

JPN/US BILAT Opening Ceremony 日米共同結団式
YAMASAKURA-75



共同結団式



共同記者会見

成30年度日米共同方面隊指揮所演習(18方面隊指揮所演習)として、平成30年4月から日米共同演習活動の演習を継続するとともに、12月3日から17日の間、東千歳駐屯地において準備訓練及び総合訓練(Y.S-75)を実施した。

本年は、昭和56年度から実施している演習の5年ぶりに、本演習では、本格的な演習として、部隊間の連携を強化し、日米共同演習のレベルを向上させることを目的として、米軍と自衛隊が共同で演習を実施した。

演習は、米軍第1軍団と自衛隊第1旅団が中心となり、約600名の隊員が参加した。演習内容は、共同演習の準備訓練、演習開始式、演習実施、演習閉幕式などである。

演習は、日米両軍の協力により、成功裏に実施された。演習を通じて、日米両軍の相互信頼関係が強化され、日米共同演習のレベルが向上したと見られる。

共に、前へ！ 日米の共同連携を強化



第751号
平成31年1月23日

方面總監要望事項
よく考えて、前へ！

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面總監部広報室

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mpa.gj.go.jp/>

公式 SNS

フェイスブックはこちら

ツイッターはこちら

共同結団式における日米演習担任官訓示 (全文)

この結団式に招待していただきありがとうございます。また、この結団式に参加できることを光栄に感じています。本演習は、日米両軍の協力により、成功裏に実施された。演習を通じて、日米両軍の相互信頼関係が強化され、日米共同演習のレベルが向上したと見られる。



第1軍団長 ヴォレスキー中將



北部方面總監 田浦陸將

この演習は、日米両軍の協力により、成功裏に実施された。演習を通じて、日米両軍の相互信頼関係が強化され、日米共同演習のレベルが向上したと見られる。

演習は、日米両軍の協力により、成功裏に実施された。演習を通じて、日米両軍の相互信頼関係が強化され、日米共同演習のレベルが向上したと見られる。

演習は、日米両軍の協力により、成功裏に実施された。演習を通じて、日米両軍の相互信頼関係が強化され、日米共同演習のレベルが向上したと見られる。

演習は、日米両軍の協力により、成功裏に実施された。演習を通じて、日米両軍の相互信頼関係が強化され、日米共同演習のレベルが向上したと見られる。

演習は、日米両軍の協力により、成功裏に実施された。演習を通じて、日米両軍の相互信頼関係が強化され、日米共同演習のレベルが向上したと見られる。

YS-75 総合訓練

日米共同方面隊指揮所演習総合訓練(YS-75)では、日側による作戦会議、日米による担当者調整、日米共同による作戦会議、日米両指揮官による合同、日米共同ターゲットティング会議(主に火力に関する事項)といった各種調整や会議等に基づき実施し、敵の侵襲に対処し、緊密な連携と方面隊の指揮幕僚活動を演習した。

駐屯地に設けた指揮所内は、日米の調整がスムーズにできるように機能ごと配置する。また、会議等の主要な場において、通訳を介し認識の共有を図った。また、地図やシミュレーション等を活用し、効果的に活用の能力を有する切り分けを明確化する等、作戦目的を達成するための日米共同要領を綿密に調整した。

作戦は、12日まで13日に共同反撃を開始、16日に侵襲を完了、勝利を獲得した。本演習の状況を終了した。

同日、東千歳駐屯地北隊員館において、日米隊員それぞれ100名が参加し、合同演習は固く握手を交わし、互いの健闘をたたえた。

17日には、研究会を実施し、本訓練の教訓を分析・評価の機会を得る。また、日米共同方面隊指揮所演習総合訓練を終了した。



方面作戦会議(総監指導)



担当者間調整(共同後方地域作戦セル)



共同作戦会議



共同作戦会議で意見を交わす両指揮官



作戦会議終了時の勝どき(左:第1軍団長 中:陸幕長 右:総監)



共同ターゲットティング会議



任務完遂(状況終了)



共同解組式



意見交換

国民保護訓練

中央省庁、指定公共機関、地方自治体等が参加し、国民保護訓練を実施した。この訓練は、災害発生時の対応や、テロ対策など、国民の生命財産を守るための訓練である。

予備自衛官の活躍

本演習には、予備自衛官4名が参加し、任務を遂行した。予備自衛官は、国民保護訓練など、国民の生命財産を守るための訓練に参加している。



1 佐予備自衛官(共同民事作戦セル)

防衛大臣等訓練視察



ハガティ駐日米国大使



岩屋防衛大臣



ブラウン米太平洋陸軍司令官



山崎陸上幕僚長

総合訓練の間、岩屋防衛大臣、ハガティ駐日米大使、ブラウン米太平洋陸軍司令官、山崎陸上幕僚長、鈴木防衛大臣政務官、山崎陸上幕僚長等が視察を受け、訓練の様子を見学した。防衛大臣は、日米両軍の協力による訓練の重要性を強調し、今後も日米両軍の協力を深め、国民の生命財産を守るための訓練を実施していくことを期待した。

部外者訓練研修

千歳駐屯地を訪れた部外者(部内外から786名)は、訓練の様子を見学し、訓練の重要性や日米共同訓練の意義について話を聞いた。



研修中の方面隊オピニオンリーダー

北海道知事表敬

10日には、田浦監事と第1軍団長が、北海道知事と会談し、日米両軍の協力を深め、国民の生命財産を守るための訓練を実施していくことを期待した。



日米指揮官による北海道知事表敬

方面総監年頭の辞

平成最後の年、新たな気持ちで隊務を開始

田浦総監は、平成31年1月10日、北海道方面航空隊（隊長廣瀬1佐）が実施する北部方面航空隊年初飛行訓練に視察するとともに、札幌に上空から道内全隊員に対し年頭の辞を述べた。

訓練に先立ち、丘駐屯地において訓練開始式が行われ、北部方面航空隊長は訓示で「これまで培った技能を最大限発揮し、航空隊としての戦力発揮のための練度を向上させるとともに、整備とした編隊飛行を納めることに、今年一年の航空安全を祈願する」と述べた。

その後、丘駐屯地より飛び立ったヘリコプターの編隊は、

総監を乗せ札幌市上空を大きく旋回するよう飛行した。

昨年の北海道胆振東部地震災害派遣における隊員の活動に労うとともに、「新たな体制の原動力となる諸官が、今まで以上に高い練度と即応性を保持し、北部方面に約3万2千名が1隊となり、道民の民、そして、道民の負託にこたえるべく、最も頼もしい北部方面隊を目指して！」と進化したことをあらためて要望する」と年頭の辞を述べた。

この年頭の辞は、北海道全駐分屯地に放送され、総監の生放送に響いた。声は、隊務を最終となる年頭の辞を新



札幌市上空で年頭の辞



方面航空隊年初飛行訓練

本訓練は北海道において初めて勤務する官・隊長及び1佐職の連・群長等に対し、積雪寒冷地における基礎的な知識及び技能に関する訓練を実施して、必要な資質及び技能の向上を図ることを目的に毎年実施しており、今年も20名が参加した。

訓練では、かんじき歩行、曳行スキー、アキオ曳行、遭難者救助、キオ曳行、遭難者救助、雪洞を使用した宿営等を実施した。宿営時には飯ごうで食事を準備し、極寒のなか雪洞で一晩を明かした。

平成30年度防衛省共済組合本部長表彰



共済組合本部長表彰（函館支部長：中列右から2人目）

平成30年12月12日、平成30年度防衛省共済組合本部長表彰式が、東京都新宿区（谷）において行われ、北海道方面内からは函館支部（支部長 田村2佐（当時））が受賞した。

本表彰は、福利厚生施策を積極的に推進し、防衛省共済組合業務の的確な運営に寄与した功績が顕著であった支部に対して、授与されるものである。

函館支部は、団体生命保険の加入促進、施設加入、団体生命保険の加入促進、礼拝室の整備、厚給金、食卓上メニュー、食堂、積極的に広報活動を実施し、隊員との交流を図り、隊員生活の向上を図ることに努めた。

共済組合本部長表彰（函館支部長：中列右から2人目）

内28コ支部において第一位の加入人数を達成した。

また、隊員のニーズに基づき、売店の営業や近郊業者との新規に割引協定を締結する等組合員に対する福利厚生が充実し、寄与したことが高く評価された。

統括支部長表彰

本部長表彰に先立ち、11月22日、北海道方面統括支部（札幌駐屯地）において、統括支部長表彰式を実施し、東千歳支部（支部長 川崎1佐）、留萌支部（支部長 宮北2佐）及び名寄支部（支部長 佐々木）が表彰された。

東千歳支部は、駐屯地所在部隊である第7師団ラベルの清酒・ワインを増加、留萌支部は、コンビニエンスストアの早朝営業や理容店の誕生、企画による売上の増加、名寄支部は、アスパラガス、とうもろこし、餅等地元特産品の販売による売上げ増加等の功績がそれぞれ評価された。



北部方面統括支部長表彰

平成30年度新渡道訓練

部隊指揮官等の積雪寒冷地における知識及び技能を向上

北部方面隊は、北海道方面混成団長（伊崎1佐）を担任官として、平成31年1月9日から10日の間、ニセコ訓練場において、平成30年度新渡道訓練を実施した。



曳行スキー

かんじきを使用した歩行

飯ごうを使用した炊事

遭難者救助訓練

アキオ曳行

探し出せ!

目標のスポーツ・サークル活動等からの登録も!

未来を託せる後継者

北方の最前線に、健康等の信頼性!

入隊に結び付けは表彰されます

第3級賞状 (1年経過後) 入隊3名で3級賞状

第4級賞状 (2年経過後) 入隊3名で4級賞状

第5級賞状 (3年経過後) 入隊3名で5級賞状

Northern Army



札幌地方協力本部 011(631)5472



旭川地方協力本部 0166(51)6060



帯広地方協力本部 0155(23)5882



函館地方協力本部 0138(53)6241

平成30年度自衛官等募集案内

募集種目	受付期間	試験期日	合格発表
自衛官候補生 (男子・女子)	年間を通じて 行っております	札幌地本 2月23日(土)~24日(日) 3月9日(土)	合格発表日は試験日 にお知らせします
		旭川地本 2月17日(日)~18日(月) 3月3日(日)~4日(月)	
		函館地本 2月9日(土)~11日(月) 3月3日(日)~4日(月)	
		帯広地本 2月23日(土)~24日(日)	
予備自衛官補 (一般・技能)	1月7日(月) ~ 4月12日(金)	4月20日(土)~4月24日(水)	5月17日(金)

自衛官候補生及び一般陸曹候補生の採用年齢の範囲が、平成30年10月1日、下記の通り改正されました

種目	年齢の範囲		応募開始時期
	改正前	改正後	
自衛官候補生	18歳以上27歳未満	18歳以上33歳未満	平成30年10月1日~
一般曹候補生	18歳以上27歳未満	18歳以上33歳未満	平成31年3月1日~

北部方面隊写真コンテスト

ノーザンアーミー・フォトコンテスト2018

多数の応募作品の中から特に優れた13作品を表彰するとともに、平成31年方面隊カレンダーに掲載しました

平成31年
北部方面隊カレンダー



北部方面隊ホームページ
から閲覧、ダウンロード
ができます

北部方面隊

検索



受賞者全員での記念撮影



「白銀舞う」第11通信隊 2等陸曹 矢瀬 孝洋

優秀 3作品



「紅蓮」第2通信大隊 3等陸曹 渡邊 太郎



「海路機動 99HSP海渡る!」第7特科連隊 3等陸曹 廣瀬 祥悟



「白銀の世界に映える強い絆」第4特科群 2等陸曹 本間 加奈

佳作 6作品



「火力戦闘」第1特科群 2等陸曹 藤本 利明



「閃光」第3普通科連隊 陸曹長 吉川 孝文



「気合」第2通信大隊 陸曹長 武田 和也



「旅立ち」北部方面航空隊 1等陸曹 小林 利幸



「新世代」第2通信大隊 3等陸曹 吉野 貴由紀



「綿密な整備士」北部方面航空隊 1等陸曹 小林 利幸

特別賞 3作品



「山笠」第11偵察隊 3等陸曹 田原 章男



「不撓不屈の精神」第18普通科連隊 2等陸曹 沢田 元気



「地獄の番人」第2師団司令部付隊 2等陸曹 長尾 岳司

昨年11月、総監部
においてノーザン
アーミー・フォト
コンテスト2018を
実施しました。上
品な作品が数多く
寄せられました。こ
れらの中から、特
に優れた13作品
を表彰するととも
に、平成31年方
面隊カレンダーに
掲載しました。

編集後記